

新成人 新たな門出 大人の決意を誓う

平成 28 年
第4回定例会号
第 106 号

2月1日発行
年4回発行



目次

第4回定例会	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 2～P 7
議決結果	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 2～P 3
第3回臨時会	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 4
一般質問	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 5～P 7
議会の動き	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 8～P 9
議会議員道外行政視察調査報告										
行政常任委員会行政視察	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 9
議会開催状況・編集後記	・	・	・	・	・	・	・	・	・	P 10

お茶の間の議会情報誌

議会通信

Shinshinotsu Village Assembly Information

しんしのつ

平成
28年

第4回定例会

定例会の主な内容

平成28年度一般会計補正予算など 10件の議案を審議

平成28年第4回村議会定例会が、平成28年12月9日から16日までの8日間の会期をもって召集され、初日は、平成28年度各会計補正予算など10件を審議し、全て原案のとおり可決いたしました。会期中に、行政常任委員会に付託された陳情書5件を審議し、最終日にその報告を受け、採択いたしました。その後、意見書案4件を審議し、原案のとおり可決いたしました。また、4人の議員から一般質問を行い、閉会いたしました。主な内容は、次のとおりです。

予 算

【平成28年度補正予算】

◎一般会計

歳出補正の主な内容

〈基金費〉

- ・地域づくり推進事業基金 など各基金への積立金

4165万2000円

〈総務費〉

- ・地域間幹線系統確保維持費補助金

124万7000円

〈民生費〉

- ・後期高齢者医療前年度分療養給付費負担金確定に伴う精算

120万3000円

- ・国の経済対策として実施する臨時福祉給付金事業

1279万8000円

〈農林水産業費〉

- ・担い手確保・経営強化支援事業補助金

497万2000円

〈教育費〉

- ・新篠津高等養護学校演劇部全国大会出場助成金

50万円

〈土木費〉

- ・道路整備事業などの事業費確定による減額

△2018万1000円

〈今回の補正額〉

2311万5000円

〈予算総額〉

33億4871万9000円

◎国民健康保険特別会計 補正の主な内容

- ・一般被保険者療養費、高額療養費などを計上。

〈今回の補正額〉

502万円

〈予算総額〉

7億631万円

◎介護保険特別会計 補正の主な内容

- ・前年度介護給付費負担金等の確定に伴う返還金を計上。

〈今回の補正額〉

580万円

〈予算総額〉

3億6349万円

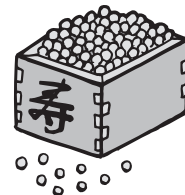
人 事

◎教育委員会委員の任命について

早川仁史氏の辞任に伴い、教育委員会委員の補充に、山元裕樹氏（上達布）を任命することと同意しました。任期は、平成30年9月30日までで、山元氏は今回初めての教育委員会委員の任命となります。



山元 裕樹 氏



条例

◎新篠津村税条例の一部を改正する条例について

所得税法等の一部を改正する法律の公布及び外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、本条例を改正するものです。

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、同法第8条により外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正が行われ、村民税で分離課税される特別適用配当等の額を国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるものであるため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村小規模保育所条例の制定について

子ども・子育て支援制度に基づく新篠津村小規模保育所の新設に伴い、本条例を制定するものです。



完成した乳児保育所
(ひまわり保育所)

◎新篠津村介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の制定について

介護保険法の一部改正などに伴い、高齢者の介護予防及び自立支援に係る施策を総合的に推進し、介護予防・日常生活支援総合事業等の事業を施行するため、本条例を制定するものです。

◎新篠津村高齢者等在宅生活支援条例の一部を改正する条例について

介護保険法の一部改正に

よる、介護予防・日常生活支援総合事業等の施行に伴い、介護サービスの法的な整理により本条例の一部を改正するものです。

◎新篠津村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例について

介護保険法の一部改正に伴う定義の整理と介護サービスの整理のため、本条例を全部改正するものです。

請願・陳情書

意見書の提出を求める陳情書5件あり、行政常任委員会に付託の上、審議した結果、次のとおりとなりました。

なお、採択された陳情書については、地方自治法第99条の規定に基づき政府関係機関へ意見書を提出しています。

また、北海道選出国會議員には陳情書として提出しています。

件名	提出者	結果
「介護保険制度の見直しに対する意見書」採択を求める陳情書	介護される人もする人もみんな笑顔に！北海道連絡会 共同代表 社会福祉法人協立いつくしみの会 常務理事 河原 政勝 福祉保育労働組合北海道地方本部 執行委員長 深谷 正史	採 択
全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める陳情書	公益社団法人北海道アイヌ協会 理事長 加藤 忠	趣旨採択
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める陳情書	北海道町村議会議長会 会長 西村 昭教	採 択
大雨災害に関する陳情書	北海道町村議会議長会 会長 西村 昭教	採 択
JR北海道への経営支援を求める陳情書	北海道町村議会議長会 会長 西村 昭教	採 択

第2回臨時会 (11月22日)

平成28年第2回村議会臨時会が11月22日に開会され、議案5件を審議し、原案のとおり可決いたしました。

予算

【平成28年度補正予算】

◎一般会計

歳出補正の主な内容

〈議会費・総務費〉

- ・人事院勧告に基づく給与改定に伴う月例給並びに期末手当等の増加分
244万2000円
- ・職員共済組合負担金等
620万7000円

〈今回の補正額〉

864万9000円

〈予算総額〉

33億2560万4000円



条例

◎新篠津村議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院の平成28年度の給与改定に関する勧告に鑑み、期末手当の支給率の改定を行うため、本条例を改正するものです。

◎職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院の平成28年度の給与改定に関する勧告に鑑み、給料月額、勤勉手当の支給率及び扶養手当の額の改定を行うため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村B&G海洋センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

トレーニングルームの新設やアリーナー等の大規模改修が行われたことを考慮し、使用時間の細分化された使用料等を見直すため、本条例を改正するものです。

【体育館使用料】

- ◎個人使用(全日)
小学生、中学生 1000円
高校生、大学生、一般 2000円
- ◎団体使用(全日)
小学生、中学生 1000円
高校生、大学生、一般 2000円

◎村民の使用料は、条例の減免規定により無料となっております。



新設されたトレーニングルーム

議会日誌

〔11月〕

4日 農業振興懇話会研修会

5日 新篠津中学校統合50周年開校70周年記念式典・祝賀会

9日 第60回町村議会議長全国大会(東京都)

10日 月新水道企業団議会臨時会(月形町)

14日 新篠津村商工会平成29年度要望書提出

15日 議員道外研修(18日、宮崎県、鹿児島県)

22日 議会運営委員会
議員協議会

22日 第2回村議会臨時会

23日 北海道後期高齢者医療広域連合議会(札幌市)

23日 大ぼらの会との懇談会

23日 新穀感謝祭

25日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会

25日 第2回臨時会(札幌市)

30日 北海道町村議会議長会理事会(札幌市)

30日 東出村長北海道社会貢献賞受賞を祝つ会

3日 B&G財団との懇談会
新篠津村B&G体育館改築工事落成式
伊達忠一参議院議長就任を祝つ会(札幌市)

9日 議会運営委員会
議員協議会

12日 行政常任委員会

16日 議会運営委員会
議員協議会

19日 第4回村議会定例会(最終日)

6日 新篠津福祉会理事会

6日 議員協議会

7日 交通安全祈願祭

8日 新篠津消防出初式

8日 新篠津村成人式

11日 新篠津村関係機関新年交礼会

13日 新篠津村商工会新年交礼会

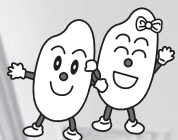
18日 新篠津福祉会役員新年会

24日 議会広報特別委員会

25日 北海道市町村職員退職手当組合定例会(札幌市)

〔12月〕

2日 議会運営委員会



～4人の議員から5項目を問う～



**一般
質問**

**道路環境、ワーキングホリデー、高齢者福祉
3万円ビジネス、次期村政について**



平成28年第4回村議会定例会が12月9日から12月16日の8日間の日程で開催され、議会最終日、4人の議員が質問し、東出村長に答弁を求めました。

○植島議員 質問
観光の拠点であるたっぷの湯の前の道道江別奈井江線北側にある緑地帯は、造成後20年経過し、樹木も成長し、特に下草などが管理されていないため、ゴミ等の不法投棄が心配である。一部の防風ネットには破

Q たっぷの湯前の道道北側緑地帯の管理を道路管理者の北海道に要請しては

A 北海道に対して強く要望する

**一般
質問**
植島 豊 議員

○東出村長 答弁
村の観光拠点の周辺環境として防雪林を適正に管理し、害虫の発生、害獣の棲みつきと繁殖を防ぐためには、継続的な整備と維持管理が必要であると考えていることから、これらの点について北海道に対し、強く要望していくので、ご理解を賜りたい。



下草が生い茂っている道道江別奈井江線(たっぷの湯前)

れが生じており、環境が良いとは言えない状況であり、村の観光のイメージダウンにならないか危惧している。村として道路管理者である北海道に対し下草を刈るなど管理していただけるよう要望する考えはあるのか村長に伺いたい。

○植島議員 質問
 近年、都市部と農村部の新しい交流のかたちとして、滞在型体験観光としてワーキングホリデーが地域活性化の試みとして始まりつつある。これは都市部の人達が休暇等を利用して、非日常体験である農作業を労働力として有償で行い、その対価をもって地元の宿泊施設に滞在するものなので、地域内で経済が回ることの利点と併せ、都市部と農村部との人的交流から地域や農業の魅力に触れることで、人口、定住対策につながる可能性があると思うが、そ

Q ワーキングホリデーの取り組みの考えは

A 実現性を関係者と検討して参りたい

の取り組みについて、村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁
 現在、本村の農業体験は、グリーンツーリズムしんしのつが、主に本州の高校生を受け入れている。

本村のような稲作中心の農村では、未経験者が就労体験できる農作業は限定的になると考えられる。農作業のアルバイトも派遣会社が入るため、単価が上がり、農業経営の負担になっていくと聞いている。

お互いの利害が一致するウインウインの形が築け、農家の需要や新たな宿泊プランなどの実現性を関係者と検討して参りたいので、ご理解願いたい。



昨年のグリーンツーリズムでトマトの定植作業を終えた高校生たち

一般質問
 大塚裕樹 議員

Q 高齢者サロン等の居場所づくりのための支援や助成は可能か

A 新篠津村にあった「介護予防サロン」を構築したい

○大塚議員 質問
 現在、高齢者サロン等は、全国的に進められている事業である。住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことは誰もが抱く願いであり、そのためには身近な地域で「人と人とのつながり」を深めることが大変重要で

ある。
 高齢者の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくるために、高齢者をはじめ地域の誰もが気軽に立ち寄ってお茶を飲んで食事をしながら、おしゃべりのできる「居場所づくり」が効果的である。

この居場所づくりは、高齢者の孤立予防や介護予防につながることはもとより、高齢者が主体的に参加することで、高齢者の「生きがいづくり」にもつながる。
 以上の趣旨を踏まえて、本村でも高齢者が主体的に取り組み、サロン等の居場所づくりのための支援や助成が可能か村長に伺いたい。

○東出村長 答弁
 高齢者サロンについては、これからの本村における介護予防事業の大きな柱になると考えている。
 これまでのような「サービスを提供する側」と「サービスを受ける側」の二層構造だけではなく、地域住民自らが、介護サービス事業

に参加し、行政・介護サービス事業者等と協同で自分たちの地域を支え合う体制整備が必要となる。
 江別保健所、介護サービス業者等からの協力を願い、平成29年度より、モデル事業として新たなサロン事業を実施することで、地域住民と共に試行錯誤しながら、新篠津村にあった「介護予防サロン」を構築したいと考えている。

高齢者がいつまでも元気で住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることのできる地域をめざし、介護サービスの整備・充実を進めたいと考えているので、ご理解を賜りたい。



「ゆうあいの会」でレクリエーションを楽しむ高齢者（保健センター）

一般質問

菊地清美 議員

Q 役場内に3万円ビジネスの相談窓口を

A 現状の組織体制の中でしっかり対応していく

○菊地議員 質問
新篠津村に住む方1人あたり月3万円の収入を得るビジネスはないかと考えている。なぜ、3万円かという、シルバー人材センターでの1人あたりの月平均賃金が3万5千円だからである。

3万円ビジネスは、村の置かれた条件や資源などの固定概念にとらわれずに、サービス業の感覚を取り入れて、商業感覚で医療、介護、福祉、育児、教育、環境保全など家の中でコソコソつくる仕事など、仕事をする方の条件にあった仕事を想定している。
本村の約51%の住民が農業ではない職業である。人口を減らさずに、村を活性化していくことを考えると村づくりは小さな事業から始まると思う。役場内に3万円ビジネスの提案と相談の担当部署をつくれなにか村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁

村民から新たなサイドビジネスの提案などがあり、相談を受けた場合には、現状の組織の中で、関係する係員がしっかりと対応して、関係機関に照会しながら、出来る範囲で適切なアドバイスやサポートを行っていきたく考えているので、ご理解を賜りたい。

一般質問

藤永康夫 議員

Q 東出村長の次期村政への考えは

A 若い人に担って頂き、村の発展を願うことが賢明、今期で退任したい

○藤永議員 質問

東出村長は平成17年7月に就任して以来、村民の協働による住民参加の村づくりを目指し、中学校の改築や小学校の耐震化、高齢者福祉の継続充実、観光分野ではキャンプ場や産直市場の建設など、村政を執行し

てきた。

平成18年度より江別市との合併協議が行われ、平成20年7月に断念したが、この判断に誤りがなかった事は現在の村が証明している。今後、少子高齢化に伴い、福祉政策の充実や産業振興など今まで以上の課題が予想される。村の一層の発展には卓越した判断力、決断力、指導力を持つ東出村長に村政を担ってもらうことが大事である。

この際、本定例会において東出村長の次期村政への考えを伺いたい。



「最後の仕上げをして任を終えたい」と述べる東出村長

○東出村長 答弁

平成17年7月に就任し、3期目の任期も半年となった。議員各位、ご勇退された議員、職員、団体の皆さ

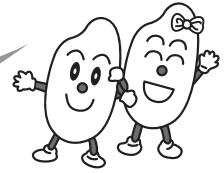
らなど多くの村民に支えられてきた。皆様方に感謝を申し上げる。

就任当初は江別市との合併協議を行い、断念せざるを得なかった。その後、半年の期間で平成30年度までの村総合計画を策定し、これまで計画どおり展開してきた。2期目は国の経済対策による交付金を活用し、中学校の改築、小学校の改修、光ファイバー網の整備の他、キャンプ場や産直市場を開設し観光分野にも相当力を入れた。3期目は、第3セクターの健全化と開村120年事業を目標に展開してきた。

3期12年は大きな節目であり、明年70歳を迎える。体力、気力も以前からみると落ちてきたことから、若い人に村政を担って頂き、更なる村の発展を願う事が賢明と思ひ、今期で退任したい。残りの期間は、「百里を行く者は九十里を半ばとす」といった中国の古典になぞらえて、最後の仕上げをして任を終えたい。



議会の動き



議会議員道外行政視察調査報告

視察出席者
副議長 藤永康夫、議員 菊地清美、
植島豊、大塚裕樹 事務局長 丸山募

1日 平成28年11月15日

宮崎県西米良村議会

- ・山村生活体験事業
(ワーキングホリデー)
- ・移住定住促進事業

【西米良村の概要】

○人 □/1,212人
○世帯数/595世帯

【視察内容】

山村生活体験事業

(ワーキングホリデー)

〈事業概要〉

- ・平成10年度より、非日常生活の体験を希望する都市部の住民が柚子などを作付し、定期的に人出不足になってくる農家で約1週間程度働き、そこから得た賃金(約5000円)で村の宿泊施設に滞在し、交流人口の増加を図っている。

〈実績〉

- ・これまで参加者は延べ443人で20代が46%で女性が全体の65%となつ



西米良村議会での研修

ている。
移住定住促進事業

〈事業概要〉

- ・「1000人が笑う村」を合い言葉に移住・定住対策として、住宅取得助成最大100万円、保育料を半額、無料まで減免、遠距離通学児童生徒に通学費全額補助など細やかな取り組みを実施している。

〈効果〉

- ・平成22年度の推計人口748人を大幅に上回る1208人となり、合計特殊出生率も2.237と全国、県平均を上回った。
- ・2060年の高齢化率の推計も19.2となっている。

2日 平成28年11月16日

宮崎県新富町議会

- ・子育て支援事業
- ・不妊治療助成事業

宮崎県志布志市JAあおぞら

- ・高齢者福祉事業

【新富町の概要】

○人 □/17,798人
○世帯数/7,636世帯

【視察内容】

子育て支援事業

高校生までの医療費助成

- ・平成20年度より、中学生までの医療費助成(平成27年度より高校生まで拡大)、多子世帯の保育料助成事業を始めた。

不妊治療助成事業

〈一般不妊治療〉

- 助成対象者 医療機関で不妊治療が必要と認められた夫婦で夫婦合計の所得が730万円未満であること

- 助成額 治療費の1/2 (上限10万円)

〈特定不妊治療〉

- 助成対象者 宮崎県の特定不妊治療助成金の給付決定を受けた者

- 助成額 体外受精、顕微授精に要した治療の自己負担額から宮崎県特定不妊治療助成額を差し引いた金額(上限15万円)

JAあおぞら

高齢者福祉事業

【志布志市の概要】

○人 □/32,433人
○世帯数/15,759世帯

〈背景〉

- ・志布志市の高齢化率は31.1%で、農協組合員も高齢化が進み、要望が多いことから平成18年にJAとして福祉事業を開始した。

〈主な内容〉

- ・当初、住宅型有料老人ホーム9床、通所介護事業(デイサービス)15名、訪問介護事業、居宅介護事業を始めた。

- ・その後、増設などを行い、現在は老人ホーム21床、通所介護定員25名の通常型として運営している。

行政常任委員会村内行政視察

行政常任委員会（高井博美委員長）が村内一円の行政視察を10月28日に実施いたしました。

B & G 体育館改修工事、乳児保育所建設、道路舗装工事など8カ所の他、篠津川重要水防カ所を視察しました。



橋梁長寿命化工事
篠津運河北14号橋の視察

【肝付町の概要】
○人口 16,124人
○世帯数 8,179世帯
【視察内容】
ふるさと納税
〈主な内容〉
・肝付町ではふるさと納税をポータルサイトに掲載

し、前年160万円だった寄付金額が平成27年度には2億9000万円にまで急増した。
地域おこし協力隊
〈第1次平成25年〜27年〉
・40代の女性（ダンサー、大学非常勤講師）を受け入れ、芸術祭などの開催の他、空き家を地域住民と一緒に改修し、地域暮らし体験の施設（きやんせの家）づくりを行った。
〈第2次平成28年度〉
・20代から30代の男女5名で活動を行っている。
・ロケットの町を再認識し活性化を図るための宇宙



新村畜産での研修（お店は1号店）

のまちづくり業務、お土産品のデザイン、全日空と連携した小中学校でのマナー教室などを展開している。
新村畜産
6次産業化への取り組み
〈主な内容〉
・27歳の時に親から畜産業を経営移譲され、30歳の時に生産から販売まで一貫して行う直販の体制づくりを始めた。
・平成23年に、良質の黒毛和牛を消費者に提供したい思いから、地産地消型焼肉店を始め、平成26年に都城市に2号店を開店した。

4日 平成28年11月18日

鹿児島県保健福祉部介護福祉課

・鹿児島県の高齢者福祉
人口 約163万人
高齢化率 29.4% (全国19位)
要介護認定率 20.4%
独居・高齢夫婦世帯率 約30%
老老介護率 41%

【視察内容】

地域包括ケアシステム

〈背景〉

・①高齢者単身世帯が多い地域ということから「高齢者の見守り、地域の互助・共助の強化」、
②要介護の原因要素として脳卒中、認知症の割合が高いため「予防介護の推進、元気な高齢者の社会参加の地域づくり」、
③離島・へき地が多いことから「各地域の高齢者のニーズに応じた医療、介護サービスの体制」等を課題として地域包括ケアシステムを構築している。

〈主な取り組み〉

医療介護連携の推進

・病院を退院する際にケアマネと病院側が連絡を取り合い、生活支援をしながら情報を共有する。
介護予防の推進

・地域住民による介護予防として、サロン事業などモデル地区17か所で、運営されている。

高齢者元気度アップ

地域活性化事業
・高齢者がボランティア活動や介護予防事業に参加するとポイントが付与され、そのポイントを地域の商品券と交換することができ、県内42市町村で活用している。



認知症高齢者を

地域で支える取組

・見守り隊のサポーター養成講座などを通じ、地域社会での認知症の正しい理解を推進する。



平成28年議会開催状況

区分	開催月日	会期	委員会・議案調査	本会議日数	傍聴者数
第1回定例会	3月9日～18日	10日	8日	2日	4人
第1回臨時会	5月30日	1日	—	1日	0人
第2回定例会	6月8日～16日	9日	7日	2日	1人
第3回定例会	9月8日～16日	9日	7日	2日	4人
第2回臨時会	11月22日	1日	—	1日	0人
第4回定例会	12月9日～16日	8日	6日	2日	1人

平成28年付託案件・議決結果

付託案件		定例会	臨時会	合計	議決結果		定例会	臨時会	合計
村長提出	条例	16件	5件	21件	村長提出	原案可決	42件	8件	50件
	予算	17件	1件	18件		同意	4件	0件	4件
	決算	1件	0件	1件		承認	1件	3件	4件
	専決処分	1件	3件	4件		認定	1件	0件	1件
	その他	13件	2件	15件		合計	48件	11件	59件
	合計	48件	11件	59件		議員提出	原案可決	8件	0件
議員提出	意見書等	8件	0件	8件	合計		8件	0件	8件
請願陳情	請願	1件	0件	1件	請願陳情	採択	8件	0件	8件
	陳情	9件	0件	9件		不採択	0件	0件	0件
	合計	10件	0件	10件		趣旨採択	2件	0件	2件
	合計	10件	0件	10件		合計	10件	0件	10件



表紙のコメント
1月8日、自治センターで成人式が行われました。華やかな振り袖やスーツに身を包んだ新成人32人は、新たな門出に大人として、新たな決意を誓っていました。

平成29年 第1回定例会のお知らせ
3月8日(水)～3月15日(水) 予定

どなたでも傍聴できます。皆様のお越しをお待ちしております。

今年の北海道は、暖冬傾向で雪も少なく穏やかな天気に恵まれておりますので、村民の方々も喜んでいらっしゃる存じます。

昨年、世界的にはテロや難民問題、韓国での大統領への抗議デモ、アメリカ大統領選挙、イギリスのEU離脱など、国や政治を、揺るがす事柄が数多くありました。国内は大災害の多い年であり、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

さて、平成29年は、世界的に選挙の年であります。ロシア、ドイツ、フランス、韓国など国内での多くの問題や課題を抱えた中での混乱が予想されます。

そして、我が村も6月には村長選挙があり、歴史の転換点になるのかそれとも今までの村政を継承して行くのか自らが主体的になつて注視しなければなりません。

今後とも村の発展の為に住民の声を村政に活かせるように一同全力で邁進して行く所存であります。

村民皆様方のご指導、ご支援をお願い致しまして、議会通信の更なる充実に努めて参りますのでご期待ください。

(大塚 記)

編集後記